

神話・伝承学への招待

齋藤英喜（佛教大学歴史学部教授）編

2015年9月刊行予定

▶A5判・260頁／定価：本体 2,300円（税別）

ISBN978-4-7842-1813-4

桃太郎は、なぜ桃から生まれてくるのだろうか——その答えは『古事記』のなかにあった。これまで別々のジャンルで扱われてきた「神話」と「伝説」「昔話」について、総合的・学問的に研究する「神話・伝承学」。本書は11の章と7つのコラムにより、魅力ある「神話・伝承学」の世界へいざなう、格好の入門書。



出雲大社境内の稲羽の白兔とオホクニヌシ

晴明神社境内の厄除けの桃



平安神宮の追儺

★予定内容目次★

第一章 「神話・伝承学」とはなにか (佛教大学歴史学部教授) 齋藤英喜	第二章 『古事記』、神々の世界を読む 齋藤英喜	第三章 日本神話とシャーマニズム アンダソヴァ・マラル (佛教大学非常勤講師)	第四章 もうひとつの「古代神話」——沖縄・台湾 渡部亮一 (立命館大学非常勤講師)	第五章 神仏習合と中世神話 船田淳一	第六章 スサノヲの変貌と「韓国神話」 (金城学院大学文学部准教授) 権 東祐	第七章 仏教と神々——八幡神を中心に (佛教大学非常勤講師) 村田真一	第八章 妖怪譚——土佐の河童伝承を事例として (高知県立歴史民俗資料館学芸員) 梅野光興	第九章 神話・伝説・昔話への新しい視点 (十文字学園女子大学人間生活学部教授) 武田比呂男	第十章 ギリシア神話を学ぶ (佛教大学・立命館大学等非常勤講師) 庄子大亮	第十一章 『古事記』はいかに読まれてきたか 齋藤英喜
--	----------------------------	--	--	-----------------------	---	--	---	--	--	-------------------------------

- コラム●
- アニメ・漫画と神話 (チレモセリ・ジョルジヨ)
- 「蟲師」
- 絵本や教科書に描かれた古事記神話 (谷本由美)
- 「児童向け古事記」の歴史
- 祇園祭と牛頭天王 (鈴木耕太郎)
- ヤマトタケルの変貌 (稲生知子)
- 「家族の神話」としてのヤマトタケル
- 「日本霊異記」と昔話 (井熊勇介)
- 「偽史」が創り出す民俗 (星優也)
- 「東日流外三郡誌」を中心に (花川真子)
- 聖地巡礼の系譜

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	神話・伝承学への招待	本体2,300円(税別)	ISBN978-4-7842-1813-4	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

本書HPのQRコード



※増補 陰陽道の神々

斎藤実著 佛教大学鷹陵文化叢書17
 コロンビア大学の発表をもとにした論考“牛頭天王の変貌と「いざなぎ流」”を収録して増補再版。疫神や式神、泰山府君、牛頭天王、八王子、金神、盤牛王、そして式王子、呪詛神たち…。彼らは近代社会が封印し、消去した「陰陽道」の神々である。本書は、知られざる陰陽道の神々の来歴と素顔を平易に説く。
 ▶46判・356頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1644-4

怨霊・怪異・伊勢神宮

山田雄司著
 古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。
 ▶A5判・448頁／本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1747-2

権者の化現 天神・空也・法然

今堀太逸著 佛教大学鷹陵文化叢書15
 日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。【内容】第一部「天神」日本国の災害と道真の霊／第二部「空也」六波羅蜜寺の信仰と空也／第三部「法然」浄土宗の布教と法然伝
 ▶46判・312頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1321-4

宮古島狩俣の神歌 その継承と創成

内田順子著
 沖縄県宮古島狩俣集落における伝統的祭祀歌謡(神歌)の永年のフィールドワークをもとに、歌われる歌の諸表現が、その都度どのように生み出され、それが演唱者や社会によってどのように意味づけられてゆくのか。歌詞のみによらない新たな歌謡分析の方法を提示した意欲的な一書。
 ▶A5判・300頁／本体6,600円(税別) ISBN978-4-7842-1036-7

※早池峰岳神楽の継承と伝播

中嶋奈津子著 佛教大学研究叢書18
 早池峰神楽とは、岩手県北上高地の主峰早池峰山麓の2つの集落に伝承される岳神楽と大償神楽の総称である(2010年ユネスコ無形文化遺産に登録)。本書は岳神楽と、その流れを汲む神楽に着目し、その師弟構造と機能、さらに岳神楽の継承と伝播がどのような形でなされてきたのかについて、時代背景を踏まえながら解き明かす。
 ▶A5判・234頁／本体4,600円(税別) ISBN978-4-7842-1676-5

※一宮ノオト

齋藤盛之著
 古来より現代まで続く「一宮」に魅せられた著者が、全国68の一宮を巡拝。オールカラー、写真・図版多数。神々が活躍する神代の由緒、古代人のロマン、歴史に残した先人の足跡や祭礼の様子、そして現在の信仰の姿まで、それぞれの一宮についてイメージーションあふれる筆致で古今縦横に語る。
 ▶B5判・180頁／本体2,200円(税別) ISBN978-4-7842-1138-8

訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

皇學館大学神道研究所編
 三大儀式の一つとして貞観期に作られたとされる、朝廷儀式の次第書『儀式』(10巻)の前半部に含まれ、祭祀に関わる儀式を今に伝える貴重な史料「踐祚大嘗祭儀」の原文翻刻に訓読および各事項についての詳細な注釈・校異、ならびに解題・平面図等を付す。
 ▶B5判・890頁／本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1619-2

今昔物語集の人々 平安京篇

中村修也著
 虚実ないまぜ話柄の豊富な説話文学の古典から平安京という都市で生きる人々—商人・検非違使・怪盗・陰陽師・絵師たち—のさまざまな姿を活写。【内容】賀茂祭を見物する翁・稲荷詣の男と女・蜂使いの水銀舟・都の怪盗・袴垂・検非違使の実態・冥界の往来者・小野篁・陰陽道の星・安倍晴明・絵画の巨匠・百濟川成・音曲の名人・源博雅 他
 ▶A5判・220頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1213-2

平安時代陰陽道史研究

山下克明著
 陰陽道の日本の特質とはなにか? その成立・展開期である平安時代を中心に、仏教・神祇信仰と並ぶ宗教としての陰陽道のあり方、陰陽師たちの天文観測技術や呪術・祭祀など活動の実態とその浸透、彼らの信仰などをさまざまな角度から明らかにする。陰陽師が残した日記である『承久三年具注曆』の翻刻を収録。
 ▶A5判・460頁／本体8,500円(税別) ISBN978-4-7842-1780-9

太子信仰と天神信仰 信仰と表現の位相

武田佐知子編
 聖徳太子信仰・天神信仰の比較研究。各専門分野の研究者による、両信仰に関わる美術史、文学史、宗教史、芸能史の研究を集成し、時代のニーズとともに変化する信仰の形態や、それに付随するイメージの付与、そして宗派や地域を越えて多面的に利用されるそれぞれの信仰の進化形について明かす。
 ▶A5判・354頁／本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1473-0

法然伝承と民間寺院の研究

平祐史著
 近世社会において、民間の浄土宗寺院はどのような変化をとげてきたのか。日本各地の民間寺院に伝わる開創・宗祖伝承や地名、史料等の考察を通じて、浄土宗教の変容や民俗信仰との関わり合いを明らかにし、歴史民俗と浄土教学史という双方の立場から、民間寺院における近世化の実態に迫る。
 ▶A5判・444頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1534-8

口頭伝承と文字文化 文字の民俗学 声の歴史学

笹原亮二編
 「口頭伝承を重視する民俗学、文献を重視する歴史学」という固定観念は崩れつつあるものの、明確な方法論は未だ打ち出されていない。フィールドワークによる生の資料と、文字で伝えられた資料両者の扱いに注目し、新たな研究方法について論じた意欲作。
 ▶A5判・444頁／本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1447-1

東アジアのなかの日本

上田正昭著
 折口民俗学を継承する著者の昨今の論文や講演録などを選んで収録。日本列島の歴史や文化の実像をよりあざやかにするために、海を媒介とするアジアとのかわり、とりわけ東アジアとの関係を重要なテーマとしてきた著者がまとめた最新の一書。
 ▶46判・376頁／本体2,400円(税別) ISBN978-4-7842-1479-2

※王権と神祇

今谷明編
 実証的研究の蓄積が少ない天皇制や大嘗祭、また権門体制論・顕密体制論によって規制されがちの中世神祇史について、実態面の研究を積み重ね、さらに中世日本紀や神道書の考証も重ね合わせることで、王権と宗教に関する新たな見取り図を描き出すことを目指した意欲的な論集。
 ▶A5判・348頁／本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1110-4

※後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著
 後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応=政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図する。
 ▶A5判・328頁／本体6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1536-2

仏教美術を学ぶ

中野玄三・加須屋誠著
 50年以上の長きにわたる中野美術史学の軌跡を、加須屋誠氏との対談をとおして振り返り、仏教美術を学ぶことの課題・方法・魅力を余すところなく収録。ソフトな文体で読みやすく、仏教美術の入門書としても最適な一書。
 ▶A5判・348頁／本体3,000円(税別) ISBN978-4-7842-1720-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。